

氏名 松村美母衣 法科大学院等の在籍年次 2L（現3L）

*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながら書き込んでいってください。文字数及び頁数に制限はありません。

*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

1 受入事務所と滞在期間

SAGA国際法律事務所（TNY国際法律事務所 ミャンマー）

1ヶ月（2019年2月15日～2019年3月17日）

2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

- ・業務・インターンシップの内容：法令の翻訳、クライアントからの調査依頼に関する調査報告書の作成、社内プレゼン、自己紹介動画の作成等
- ・構成：日本人弁護士、ミャンマー人弁護士、ミャンマー人翻訳家等
- ・勤務条件：午前8時 出勤
午前11時半～午後0時半 昼食休憩
午後16時半 退社（タスクの進み具合によって変わる、午後22時近くまで残った日もあった）

3 宿舎及びその他の生活環境について

- ・宿舎というより、堤先生のご自宅の空き部屋をお借りする形。今回のインターン生は女子が私だけだったことから、私は部屋を一つお借りし、他のインターン生（男子二人）は一つの部屋をシェアしていた。

- ・シャワー、トイレ、キッチン等は共同で使用する。
- ・食事はほぼ全て外食（キッチンもあるが、お湯を沸かす以外には結局使用しなかった。）
宿舎の周りは、ご飯屋さんが多く値段も安いので、食事には困らなかった。

4 出発に向けた準備等について

- ・当初は、英語の勉強をしてからエクスターンに臨もうと思っていたが、ロースクールの期末試験の勉強が忙しく、それどころではなかった。
- ・ワクチン接種を事前にして行くか否かは個人による（何も受けずに行く人もいる）。
万が一のこともあるため、接種していくことを個人的にはおすすめするが、デメリットとしては費用が非常に高い（下記参照）。

5 インターンシップに要した費用

- ・往復の飛行機代＋三ノ宮～関西空港への往復のバス代：約8万円（学校負担）
- ・宿舎代：約8万3000円
- ・海外保険：約1万円
- ・ワクチン代：約13万円
- ・1ヶ月の食費、生活費、移動費、及びその他の雑費：約4万円
- ・バガン旅行費（1泊2日）：約4万円

6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

1ヶ月でこなすべきタスクは非常に多いが、タスクをこなすことだけに時間を割くのではなく、自分の興味のあるコミュニティに顔を覗かせたり、実際に現地に行って見たり、能動的に動き、機会を活かすことを勧める。

そのためにも、「ミャンマーに行って自分は何を吸収したいのか」ということをよく考えておくべきだと思う。

7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

このインターンシップでは、日本とは環境も異なる新興国で、何が日本の法律実務家に求め

られているかということ、直接学ぶことができると思う。私も実際に行ってみて、日本とは異なる複雑な法律制度や、経済状況に触れる中で、既存の考え方では対処できないことが多くあることを知ることができた。

確かに、長期休みのうちの1ヶ月を使い海外へ行く以上、ロースクールの勉強の復習をこなすことはほぼ不可能であり、その点は不利だと思う。しかし、在学中に海外インターンに行けるということは非常に貴重で、自分の将来像を見つめ直す良い機会になると思う。